

Web ページ作成に当たっての遵守事項

1 企画及び仕様

- Web ページは、原則として最新バージョンの Microsoft Edge、Firefox、Safari (iPhone) 及び Google Chrome (パソコン及び Android) で問題なく表示できるよう、レスポンシブ Web デザインで作成すること。
- Web アクセシビリティの確保した Web ページの作成に努めること。特に JISX8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ」の適合レベル AA に準拠すること。Web アクセシビリティの確認は、総務省が提供するアクセシビリティ評価ツール「miChecker」を用いて「アクセシビリティ検証・音声ユーザビリティ視覚化」及び「ロービジョンシミュレーション」のチェック項目で「問題あり」が出ないようにすること。
- HTML の仕様は、WHATWG が策定した HTML Living Standard に準拠すること。また、HTML Living Standard で規定されていない、ブラウザ独自設計のタグは使用しないこと。さらに、チェックサイトで、文法等のチェックを行い、エラーがないように確認するとともに、Google Chrome、Safari 及び Firefox にて表示上の不具合がないか確認をすること。
- 機種依存文字（丸付き数字、ローマ数字等）・半角カタカナは使用しないこと。
- ファイル名やディレクトリ名（フォルダ名）は、半角小文字の英数字とすること。また、リンク画像には、リンク先の内容を想像できる代替情報を提供すること。
- メールを送信する機能や、CGI や PHP 等の動的なコンテンツは設けないこと。

2 構造

- 作成するコンテンツのファイルサイズは、1 ファイル当たり 500KB 以内、1 ページの合計容量 10MB 以内、合計 500MB 以内とすること。
- ページ内容を的確に表しているタイトルを付けること。
- フレームは使用しないこと。

3 レイアウト

- 日付等の表記は音声読み上げに対応するよう適切な表記をすること。
- 単語の途中にスペースや改行を入れないこと。

4 リンク

- リンクが設定されている箇所をクリックすると所定のリンク先が表示されるようにすること。
- 原則として、リンク先が新しいウィンドウで開かないこと。
- 新しいウィンドウを開くときは、事前にそのことを通知すること。
- リンク先が HTML ファイルでない場合は、ファイルの種類とファイルサイズを記載すること。
- HTML ファイルへのリンクを設置し、リンクの袋小路を作らないこと。

5 画像

- ・画像には、ALT 属性等により内容を的確に表した代替情報を用意すること。
- ・リンク画像には、リンク先の内容を想像できる代替情報を提供すること。
- ・画像に引用元がある場合、利用規約や著作権等の違反がないか確認すること。

6 文字

- ・文字サイズを大、中、小の3サイズで表示させる機能を設置すること。

7 言語

- ・大文字だけで英単語を表記しないこと。